

◇釧根支部
(ウインドヒルひがし
北海道スタジアム)

<Aブロック>

厚岸	翔洋	9-0
釧路	北陽	7月3日10:00
釧路	湖陵	10-1
武蔵	修館	

<Bブロック>

釧路	白糠・標茶・弟子屈・阿寒	10-0
別海	江南	7月3日12:30
釧路	江明	7-5
釧路	明輝	

<Cブロック>

釧路	工白	7月1日10:00
羅布	霧多布・根室	7月4日10:00
中標	津	7月1日12:30

▽Bブロック1回戦
釧路・白糠・標茶・弟子屈・阿寒
600 1000 1000 1000 1000
別海 (六回コールドゲーム)
(釧路大沢・吉田・上林・松田・磯谷)

別海 (六回コールドゲーム)
(釧路大沢・吉田・上林・松田・磯谷)

▼攻守でチーム鼓舞 釧路

商・白糠・標茶・弟子屈・阿寒の連合チーム唯一の3



年生で主将の手塚(白糠)
写真には試合後、「みんなと九回まで戦いたかった」

たと涙で声を詰まらせた。守備面では一塁手として必死に打球に食らいつき、四回の攻撃では安打と盗塁も決め、攻守の両面でチームを鼓舞した。

白糠の野球部は昨秋から一人だけ。同校教員で連合の指揮も執った森川監督から指導を受けつつ「一人はつらい時もあったが、土日に他校の仲間と練習できるのが励みだった」と話す。「実戦で得た経験をこれからの試合に生かしてほしい」と、連合での予選突破の夢を後輩たちに託した。



【Bブロック1回戦、別海—釧路商業・白糠・標茶・弟子屈・阿寒連合】粘り強く戦うも堅守を破れなかった釧路連合。悔しげな表情を浮かべる

奮闘も遠い1点

釧路連合

〇…逆転を目指して奮闘するも、1点が遠かった釧路連合。森川快刀監督は「スタートダッシュで崩れない事を意識していたが、入りが死球。スタートダッシュで転んでしまった」と語り、言葉を詰まらせながら「勝たせてあげたかった」と悔やんだ。

手塚主将(白糠3年)は「9イニングやりたかった。きついことも多かったけど、みんなで練習ができることをモチベーションにやってこれた」と3年間を振り返り、「ブロック、キャッチボールと一緒にやってくれた森川監督にも感謝している」と涙ながらに話した。